

授業科目名	【G】 体育実技 I (スポーツ法コース専用クラス)	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】1		
		その他参照						
科目区分	保健体育科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	実技の実践と理論の講習				担当者	竹内 久善		
授業概要	【概要】	バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球などの実践を通して基本的な技術の習熟と戦術などの理解をする。授業を通して、コミュニケーション能力の向上、ルールの遵守などをはかる。						
	【到達目標】	実施する種目に関して、基本的な技術の習得を目標とする。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	特になし。							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
評価方法	試合形式での実践をした時の勝敗、個人のパフォーマンス(50%)及び参加態度(25%)、技術の習熟度(25%)の3側面から評価をする。							
フィードバック方法	毎時間、パフォーマンスに関する評価は提示する。							
評価基準	評価方法により個々人に評価点をつけ、欠席が少なく評価点が高い者に「A」(うち、特に優れた者には「S」)、欠席が多い、または評価点が高い者には「C」、どちらも中程度の者は「B」を、また、著しく出席状況の悪い者、授業態度に問題がある者には、その程度に応じて「D」または「E」、評価不能の場合には「F」とし、合格の評価は与えない。							

授業科目名	【G】 体育実技 I (スポーツ法コース専用クラス)	区分	開講年次	【G】 1	単位数	【G】 1
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス 授業全体の説明及び施設の説明 オリエンテーションを兼ねたグループ活動(運動を実施)					
	予習:	シラバスの熟読	復習:	説明内容の確認		
2	バスケットボール1 基礎技術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	基本的なルールを確認	復習:	自身の技術レベルの確認		
3	バスケットボール2 基礎技術の練習、基礎戦術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	前回の個人パフォーマンスの問題点の確認	復習:	試合における自身のパフォーマンスの評価		
4	バスケットボール3 試合形式での活動					
	予習:	ゲームにおける自身の役割を考える	復習:	良かった点、悪かった点を分析、評価		
5	卓球1 基礎技術の練習及びシングルスでの試合形式での練習					
	予習:	シングルの基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認確認、評価		
6	卓球2 基礎技術の練習及びダブルスでの試合形式での練習					
	予習:	ダブルスの基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認、評価		
7	フットサル1 基礎技術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認		
8	フットサル2 基礎技術、基礎戦術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	前回の個人パフォーマンスの確認	復習:	試合における自身のパフォーマンスの確認、評価		
9	フットサル3 試合形式での練習					
	予習:	ゲームにおける自身の役割を考える	復習:	良かった点、悪かった点を分析、評価		
10	バドミントン1 基礎技術の練習及びシングルの試合形式での練習					
	予習:	シングルの基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認及び評価		
11	バドミントン2 基礎技術の練習及びダブルスの試合形式での練習					
	予習:	ダブルスの基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認及び評価		
12	バドミントン3 団体戦形式での練習					
	予習:	自身の技術的な問題点の確認	復習:	自身のパフォーマンスの評価		
13	バレーボール1 基礎技術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	基本的なルールの確認	復習:	自身の技術レベルの確認及び評価		
14	バレーボール2 基礎技術、基礎戦術の練習及び試合形式での練習					
	予習:	前回の個人パフォーマンスの確認	復習:	試合における自身のパフォーマンスの確認及び評価		
15	バレーボール3 試合形式での練習					
	予習:	試合における自身の役割を考える	復習:	良かった点、悪かった点を分析、評価		
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。 ※Gカリ:法【選択】 スポ【必修】 情【選択】					